

## 復旧の状況を間近で見学

### 白石城災害復旧工事見学会

6月17日、本年2月より進めている白石城災害復旧工事の見学会が開催されました。白石城は、昨年2月に発生した福島県沖を震源とする地震により、天守閣や大手二ノ門のしっくい壁に亀裂が生じました。また、本年3月の地震でも新たな被害が起りましたが、9月末までの復旧を目指して工事を行っています。

この日は、市内外から20人が参加し、天守閣の外側に設けた仮設通路から、天守閣2階のしっくい壁の補修作業を間近で見学していました。参加者は「普段では見られないしっくい壁の補修作業や屋根瓦を見ることができて新鮮でした。一日でも早くきれいな姿の白石城に復旧してほしいです」と話してくれました。

見学会は計15回開催され、今後は7月8～10日、7月22～24日、8月5～7日を予定。定員は各回20人で予約制となっています。詳細は、白石城ホームページをご覧ください。



1\_天守閣2階のしっくい壁を補修する作業員  
2\_補修作業の様子に真剣なまなざしを向ける参加者

## 自慢の取り組みを発表！

### まちづくり交付金事業報告会

5月24日、まちづくり交付金事業報告会が中央公民館で行われ、19団体78人が参加しました。これは、第6次白石市総合計画に合わせて各地区で策定した「まちづくり宣言」を実現するために実施した各団体の事業を学び合うことを目的に初めて開催したものです。

この日は、交付金を利用した9団体が活動の背景や経緯、活動内容などを報告。周知方法や若い世代の参加を促すための工夫などに関心が寄せられ、活発な情報交換が行われました。



▲各団体の発表に真剣に耳を傾ける参加者

## 夏を涼しく緑のカーテン

### 南保育園でゴーヤの苗植え

5月24日、南保育園で園児がゴーヤの植え付け作業を行いました。この取り組みは、園庭にゴーヤを植えて緑のカーテンを作り、夏場の保育室の気温上昇を抑えようとするものです。この日は4～5歳児32人が参加し、園舎にゴーヤの苗36本を植えました。成長したゴーヤは8月下旬に収穫し、保育園の給食で味わう予定です。参加した園児は「太陽に届くまで大きくなってほしいです」「たくさんゴーヤを食べたいです」と笑顔で話してくれました。



▲先生からゴーヤの植え方の説明を聞く園児

## 安全・安心な学校生活のために

### 学校安全委員会

5月25日、東中学校で学校安全委員会が開催されました。この委員会は、白石第一小学校防球ネット支柱折損死傷事故調査委員会からの答申である再発防止策のひとつで、東中学校では教職員、生徒、保護者、有識者で構成する計10人の委員が、安全点検の年間計画内容に対して協議や校内の危険箇所の確認などを行いました。生徒代表の委員からは、部活動中の避難訓練の提案があるなど、それぞれの立場から多くの意見が出されました。



▲開催された学校安全委員会の様子

## 生まれ変わったテニスコート

### 白石中学校のテニスコート整備に感謝状を贈呈

5月23日、白石中学校でテニスコート整備を協力した企業に対して感謝状贈呈式が行われました。同校のソフトテニス部は、昨年度まで雨が降るとコートに水がたまり、練習できない日が何日も続いていました。同校では、コートの整備費用として、教育現場の充実やスポーツ振興への寄与を目的とする「公益財団法人マークスホールディングス育英会」にスポーツ活動助成を申請し、助成金の20万円で土などを購入。教職員や部員たちで整備を行いました。コートが路面が波を打った状態に。見かねた地域の方が市内の建設業「サンダイ工業有限会社」の佐久間一志代表取締役の助力を求め、見違えるほどのコートに生まれ変わりました。

この日は、顧問や部員約50人が協力された企業へ感謝の思いを伝えていました。部員は「新しいコートで、目標に向かって日々努力していきます」と意気込みを述べてくれました。



1\_雨天後に水たまりの状態が続いていたコート  
2\_生まれ変わったコート  
3\_熱心に練習する部員たち